会役員を終えて見えたこと

～三重県土地家屋調査士会役員として～

平成３０年７月２１日（土）
三重県総合文化センター2F 視聴覚室
名誉会長　神　戸　照　男

１、　はじめに
・三重県土地家屋調査士会の歴史
２、　新規事業と新たな会務にあたって
・新会館の建設
・境界問題相談センターみえの設立
３、　会役員の心構え
・会務運営と理事会の責任
・日調連・中部ブロック協議会と三重会の関係
・「不易流行」と言う考え方
・会員減少の中での会務運営
・土地家屋調査士の広報活動
４、　会役員への誘い
・一生の生業とするため
・結束ある組織づくり
５、　会員の皆様へのお願い
・専門資格者として　仕事と寄り添い
・会員の減少
・後継者の育成
・土地家屋調査士試験への受験者増
・連携専門学校及び資格専門校の活用
・土地家屋調査士受験・開業ガイダンスの案内
・出前授業への参加
・土地家屋調査士としての奉仕活動
（例）ロータリークラブの職業奉仕　「４つのテスト」
近江商人の三方よし　「売手よし、買手よし、世間よし」
６、　１０年後の土地家屋調査士
・「境界紛争ゼロ宣言」の意味
・一人一人の土地家屋調査士の意識向上が鍵
・土地家屋調査士は国民にとってのスーパーマン